平成 23 年度事業実績

地球にやさしい バイオマス推進事業

食品廃棄物や木くずなど、動植物からできた再生可能な有機性資源のことをバイオマスといいます。

松前町は、地域循環型社会を目指し、平成 20 年度に「松前町バイオマスタウン構想」を策定。都市近郊型地域の特徴を生かして、食品廃棄物、使用済み食用油、せん定枝、稲わら、もみがら、ひまわりなどのバイオマス利用について数値目標を定め、3カ年にわたり取り組みを進めてきました。

今後も、普及啓発活動の向上や支援活動の拡大に努めながら、さらにバイオマス利活用を進め、地域の特徴を生かした循環型社会を目指します。

23 年度の実績は次のとおりです。

ひまわりの栽培

平成 18 年度から「えひめバイオマスプロジェクト」のモデル町として、町花ひまわりの栽培を開始しました。栽培したひまわりの種から油を採取し、保育所の給食や文化祭でフライドポテトを揚げるなど、食用油として使用しています。

その使用済み油は、バイオディーゼル燃料（ＢＤＦ）に精製し、公用車などの軽油代替燃料として利用しています。

ひまわりの播種作業

ひまわりの定植作業

花を咲かせたひまわり

ひまわりの種収穫作業

ひまわり油を使った給食

給食でのひまわり油の利用

ひまわりの種収穫量・搾油量

地区	収穫量	搾油量
中川原	95 キロ	14リットル
東古泉	774 キロ	112リットル
合計	869 キロ	126リットル

使用済み食用油の回収・燃料化

家庭や給食センターから出る使用済み食用油を回収し、ひまわりの種から搾油した油と一緒にバイオディーゼル燃料に精製しています。

CO_2 削減の量は1年間で約 82 キロと少量ですが、皆さんから回収した使用済み食用油で公用車が走っています。

バイオディーゼル燃料使用車

使用済み食用油回収ボックス

使用済み食用油回収実績

使用済み食用油回収量
7,873 キロ

バイオディーゼル燃料使用実績

BDF（B5 燃料）使用量
463リットル

使用済み食用油の回収にご協力ください

家庭から出る使用済み食用油は、庁舎、東・西・北公民館、まさき村の計5カ所に回収ボックスを設置し、ダイキ EX 松前店では、油が入ったボトルのまま回収しています。

利用できる時間

- 役場庁舎、東・西・北公民館
  ⇨ 8 時 30 分～ 17 時 15 分
  （土・日曜日、祝日を除く）
- まさき村・ダイキ EX 松前店
  ⇨営業時間内

せんてい枝から土壌改良材ができるまで

回収

堆肥化

農地で利用

㈲あぐりのせんてい枝堆肥化施設

せんてい枝の堆肥化

家庭から出るせんてい枝や草を可燃ごみとして焼却せず、資源ごみとして分別収集。北川原の「有限会社あぐり」で土壌改良材に変換し、町内の農地で利用しています。

せんてい枝は堆肥化しましょう

㈲あぐりへの持ち込みについて、詳しくはP13 をご覧ください。

せんてい枝の収集実績

せんてい枝の収集量
773 トン

問町民課生活環境係　☎ 985-4117